

民間研究所めぐり

石原産業株式会社中央研究所

所在地：滋賀県草津市西浜川2丁目3番1号	
電話：0775-62-3574	
敷地面積：38,000 m ²	
研究所施設面積：1号棟（新棟）	5,000 m ²
2号棟	3,700
別棟実験室等	2,200
温室および関連施設	800
試験圃場（水田・畑・果樹園）	7,100

石原産業株式会社は、酸化チタンを主体とする無機化学部門と、農薬を主体とする有機化学部門を2本の柱とする総合化学会社である。したがって、中央研究所はこれらの分野すべてにわたる総合研究所としての性格をもっている。今回は、有機化学部門の研究概要を紹介する。

番2研究室は、三十余年にわたる農業開発史の中で、「自主技術開発力を育てる」という基本方針の下、蓄積された知識と経験を結集し、次々と有望な新農薬・有機中間体の開発、企業化に成功している。

たとえば、除草剤では「エックスゴーニ」につづき、「SL-49（パイサー）」、SL-236（ワンサイド）」、殺虫剤では「IKI-7899（アタブロン）」、殺菌剤では「IKF-1216」などが挙げられる。



温室内の除草剤スクリーニング

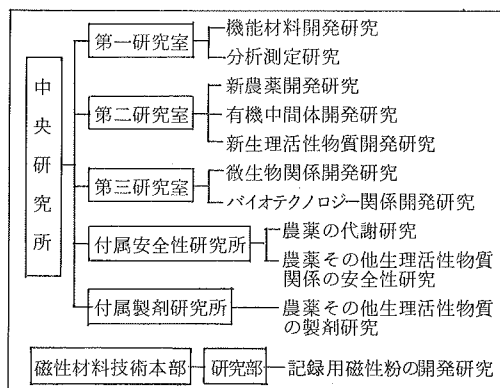


昨秋完成した新研究棟

また、農薬・医薬・染料などの原料である有機中間体では、すでに「3,5-ジクロロアニリン」、「メタジクロロベンゼン」などが上市されたが、最近新種69種を発表した。

第3研究室では、拾数年前より「微生物の利用に関する研究」に着手し、抗ガン性物質、抗菌性物質などをターゲットとする抗性物質の開発に取り組んできた。新研究棟完成と共にこの部門を拡大して、バイオテクノロジーの本格的な研究を開始した。RI施設の新設によって、薬剤の作用機作解明や残留代謝の追跡などの研究が、一段と強化されることとなった。

本年、研究所は草津移転20周年を迎えることとなるが、新しいこの器を、叡智と情熱をもって、輝しい成果で満たそうと、所員一同研究に励んでいる。



組織・機能図